

**対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力**  
**タヴィルダラ行政郡サングヴォル地区第3中等学校新校舎建設計画**  
**供与式報告**

平成26年4月24日、「タヴィルダラ行政郡サングヴォル地区第3中等学校新校舎建設計画」の供与式を行い、堀江書記官が出席しました。本計画は、タジキスタンのほぼ中央、首都ドゥシャンベ市北東約250kmに位置するタヴィルダラ行政郡で行なわれました。対象となったのは、険しい山岳地帯の深部、標高2,000メートルの場所に位置するタヴィルダラ行政郡サングヴォル地区第3中等学校。1年生から11年生までの500名以上が学びます。

しかし生徒数に反して、同校の校舎はたいへん手狭なものでした。1975年に建設された既存校舎の教室13室は20人前後の生徒数を想定して造られたものです。狭い教室に30人の生徒が詰め込み、2人用の机を3人で共有して授業を受けるなど、快適な学習環境とは言えませんでした。

本計画では、5教室と1職員室で構成される新副校舎を建設しました。新しい教室は一教室あたりの面積も大きく、既存校舎と新副校舎を合わせ、今後サングヴォル地区の生徒数が増加しても充分対応できる快適な学習スペースを構築することができました。



供与式でテープカットを行うタヴィルダラ行政郡長（中央左）と堀江書記官（同右）。



新校舎の周りに並ぶ生徒達。



教室の様子。机や椅子などの備品は、本計画実施に伴い行政郡により刷新されました。



供与式では生徒代表と共に、新校舎ドアにODAステッカーの貼付を行いました。